

長野県木曾青峰高等学校 令和2年度第1回学校評議員会 記録

日時 令和2年7月29日(水) 午後3時30分から午後5時00分

場所 木曾青峰高等学校同窓会館

出席者 学校評議員 同窓会長・同窓会副会長・PTA会長・木曾養護学校長
木曾障がい者総合支援センターともに就労支援ワーカー・木曾福島地区区長会長
学校職員 校長・全日制教頭・定時制教頭・全日制教務主任・定時制教務主任
進路指導主事・生徒支援主任・1学年主任・2学年主任・3学年主任
理数科主任・森林環境科主任・インテリア科主任

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校からの報告

4 学校評議員からの質問・意見・要望等

(評議員) 県でも教育ICTの導入を進めている。木曾青峰高校の現状を教えてください。

■不具合もあったが、学校としてできる解決策を進めている。一人一台端末を持っている訳ではないので条件整備に時間は掛かるが、今後ご支援をお願いしたい。

(評議員) 専門学科では、生徒を指導する側の人材確保も課題であると考え。

■学校でも課題としてとらえている。卒業生の進路先とも併せ、研究をすすめたい。

(評議員) 課題研究発表会を見せていただいたところ、とてもよい取り組みであると感じた。普通科においても同様の事に取り組むことができないか。また一般の聴衆が少ないが、地域の方にもっと聞いていただいた方がよいのではないか。

■学習指導要領改訂に伴う教育課程の編成で、普通科でも「総合的な探究の時間」が導入される。この運用も含め研究したい。

■3年間の成果を見ていただけるのはありがたい。リモートなども研究したい。

(評議員) コロナウイルスへの対策に関して、生徒たちが心配した事例や、その対応について教えてください。

■休校による学習の遅れの心配を訴える生徒はいた。しかし、車の他県ナンバーを見て不安であるといった内容の事を訴えた事例は把握していない。

■例年、3月に中高連絡会が開催されるが、これも含め方策を考えたい。

(評議員) コロナウイルス対策でオンラインの学校説明会が増え、保護者として知りたいアパートの情報などが把握しづらい。提供を検討いただけないか。

■長野県の学生寮などの情報を提供している。今後何が提供できるかについては研究したい。

(評議員) インテリア科のPR活動とは具体的にどのような事を実施しているのか。

■以前は中学校の文化祭へ訪問しブースを作るなどを実施していた。今年度HPを更新したのでご覧いただきたい。

(評議員) 中学生が進路選択をする際に、修学旅行先なども材料となっている。昨年度の修学旅行の様子を教えてください。

■(概要と様子をお伝えしました。)

(評議員) 特別な支援が必要と思われる生徒に関して、今年度就職の支援に関わっている。ご相談いただければ3年生になってからということではなくてもサポート可能である。

(評議員) 登下校に関して、他の区からも苦情を聞いたことがない。大変まじめである。

コロナウイルスの問題も乗り切っていただいて、将来のよい思い出となるよう指導いただきたい。

(評議員) 交流センターにいと、よく勉強している姿を見て感心している。

(評議員) 小中学校の連携は密であると感じる。特別な支援の必要な子どもの情報交換も含めより密接な連絡をお願いしたい。

5 その他

6 閉会